

こんにちは 日本共産党の

竹永みつえ

です

発行
日本共産党岡山市議団
〒700-8544 岡山市北区
大供1-1-1 市役所内
TEL 086-803-1000
内線 4370
FAX 234-9388(直通)



11月議会、個人質問中の竹永議員

議会個人質問より

1) 払える国民健康保険料に!

岡山市民の4割が加入をしている国民健康保険ですが、その加入者の7割が年間所得200万円以下です。そして介護保険料とあわせて約40万円の保険料です。所得の2割が保険料です。社会保障の費用が市民の暮らしを圧迫しています。なんとか一般会計からの繰り入れを増やして、払える国民健康保険料の実現を!と個人質問でも求めました。岡山市はこの3年間、一般会計から繰り入れをおこない、値上げはおさえてきました。繰り入れも限界だという市の姿勢でしたが、市民の暮らしの大変さを質問で訴えた竹永議員に対し、市当局は「総合的に検討したい」と答弁。検討の後押しには署名が大きな力になります。12月22日に第一弾として約3万筆の署名を提出しました。引き続き値下げをもとめたいとおもいます。この間、ゆきすぎた行革で昨年度の収支決算は26億円の赤字であり、基礎的財政収支は241億円の赤字です。もう10億円でも繰り入れると、一人当たり年間1万円の値下げが可能です。引き続き署名にご協力ください。



1) 子宮頸がんワクチン 全額公費負担

予防できる癌として、早期にワクチン接種がのぞまれていた子宮頸がん、ワクチンに国と、市と助成をつけて全額公費負担で1月から実施となります。

中1～高1が対象になります。竹永議員は今回の議会質問でも、性教育として位置づけることや市民啓発を求めました。



(写真A)

2) 小児ヒブワクチン 全額公費負担

小児用肺炎球菌ワクチンとヒブワクチンの接種に対する助成も国と市で全額助成になり、1月から実施です。昨年の10月、新日本婦人の会と、新日本婦人の会岡山支部(代表菅原美佐子)とこどもの医療費無料化をすすめる岡山の会(代表 木村久子)が合同で、市に4000筆を超える署名を提出していました(写真A)。大きな運動の成果です。

2) 発達障害児支援センターは 勤労者福祉センター1階に開設。

この、議会に発達障害児支援センターを平成23年度開設をめぐって、勤労者福祉センター1階に開設される予算が提案されました。竹永議員は福祉現場で働いていた経験をもとに、総合相談窓口の必要性を、議会質問で訴えました。専門職員の確保と、専門機関の療育は満杯という現状の中、「待ち」の間のプレ療育の充実、生涯をとおしての支援を他機関とも連携することを求めました。

3) 妊産婦検診14回無料継続 HTLV-1ウイルス検診も追加

妊産婦検診14回無料が2年間の期限付きでしたが、今回も補正をつけて継続されることに。またHTLV-1(白血病の原因となるウイルス)の検診も項目として追加されることになりました。



4) 小規模工事登録制度、来年度試行

先日12月3日の、我が党市議団河田議員の質問で「50万以下の小規模工事を登録制度にして 地元の零細企業や個人経営の方に仕事が行くよう、支援策として考えてほしい」との訴えに 市当局は「来年度試行する」方向性を答弁。その後の総務委員会では10万円以下のものを来年の4月から試行という方向性が示されています。試行後の継続と50万円以下を引き続き求めたいと考えます。

3) 公民館は教育委員会の所管で、職員を補助執行

公民館の運営が移管されるのではないかと住民の不安の声をうけて、個人質問で取り上げました。結局は移管はしないで、所管は岡山市教育委員会のままで社会教育法のもと運営される施設ということは変わらないという答弁でした。安全・安心ネットワークの職員を公民館に補助執行させ、公民館の職員には安全・安心ネットワークの仕事と併任させる方向で、公民館の機能に安全・安心ネットワークの機能を加えるとの方向です。竹永議員は、質問の中でも、公民館の主体性の担保と市民への説明を求めました。モデル地域から来年4月から実施されるうごきです。

竹永みつえ市議の電子メール t@okjcp.jp ホームページ http://t.okjcp.jp/

4) 市立「へいわかん」(仮称)は 今年中に設置場所の決断を

今年は、戦後65周年、戦争・戦災体験者も高齢化の中で、平和の事実を伝える事業は急務です。竹永議員は被爆二世ということもあり市立のへいわかんの設立をもとめつけています。戦後65周年の今年こそ、せめて設置場所の発表をと迫りましたが、資料の検証中であり、その作業をふまえたうえで既存施設を活用し規模、展示内容、手法を検討したいとの答弁にとどまりました。これは市議会の全会派が一致して市立の「へいわかん」の設立を採択しています。ひきつづき早急に設置をもとめていきます。

5) 議会が深柢小学校跡地に、川崎病院誘致を推進!?

この議会で、深柢小学校跡地について、川崎病院を誘致してほしいという内容の陳情が10件、防災空地・教育財産として残してほしいという陳情、4件について、結論を求められた。

私たち日本共産党岡山市議団は慎重審議を求めたにもかかわらず多数決で、川崎病院を誘致してほしいという内容のほう採択されてしまいました。

川崎病院から岡山市には何もオファーがない現状で議会が、先走ることはできないこと。

またこの地域は密集市街地として、防災空地が明らかに足りないこと、この地域に病院が必要ならなぜ市

民病院を移転させるのか?

そして、この土地は教育財産であり、市としての全体としての議論もしていない現状で認めるわけにはいかないというのが我が党市議団の結論です。私の住んでいる東区では、西大寺公民館の一部に市の教育センターが移設して来春オープンですが、東区の方から言わせると中心市街地のこの土地に教育センターを持っていくのがベストだという意見もあります。そういう議論もなされないうまま、なぜこの時期に?議会が採択をするのか?

これから30年の間に東南海・南海地震が発生する確率は70%、この早まった決断が人命にかかわる結果になるようで恐ろしいと思うのは私たちだけでしょうか!

トピックス

①岡山市がん対策推進条例(案)を議員提案で策定中、ご意見を!

我が党市議団のイニシアティブで議会保健福祉委員会を中心に議員発議で岡山市がん対策推進条例(案)を策定しています。我が党市議団も高根に勉強に行ったり、また、崎本議員が看護師としての知識とご自分の体験もふまえて知恵ををばりました。保健福祉委員会としても患者会などの関係団体からヒヤリングをして、教育も含めた内容の案がこのたびできました。12月20日から1月10日までパブリックコメントを求めています。ぜひご意見を!用紙は市のHPからもダウンロードできますし各区役所、ふれあいセンター、公民館などにあります。

②来年度予算に向けて、東区役所・瀬戸町役場に要望書提出・懇談

来年度予算に向けて、日本共産党東区委員会(河井伸士区委員長)は東区に関連すること48項目の要望書と瀬戸町役場には37項目を提出し、川野豊東区長をはじめ、各課の職員と懇談した。懇談には石村ともこ県議員予定候補、武田ひでお県議員も参加しました。

周辺部の公共交通の問題や、いのししなどの鳥獣被害の問題、また米価の暴落で等級外が多い現状では農家がやっていけないなどの実態を話し合いました。

区役所の職員は丁寧に対応くださり、区役所だけで完結するものばかりではないので、本庁にも申し入れて、来年度の予算要求にいかしたいとのことでした。



川野東区長に要望書を渡す、河井区委員長、左から竹永市議、石村県議候補、武田県議

生活・法律相談しています。

西大寺中野の党事務所

☎086-942-1780

毎週月曜日 生活相談 午後6時半～
第三水曜日 法律相談 午後6時半～(弁護士もきます)

コープ西大寺診療所

☎086-944-0088

第四水曜日 午後6時半～(要予約)

上道の党事務所

☎086-297-9515

第二水曜日 午後6時半～

* 議会の日程の関係で急に中止になり場合もありますので事前にお電話を!